

## 共同研究報告書

公立大学法人 大阪府立大学

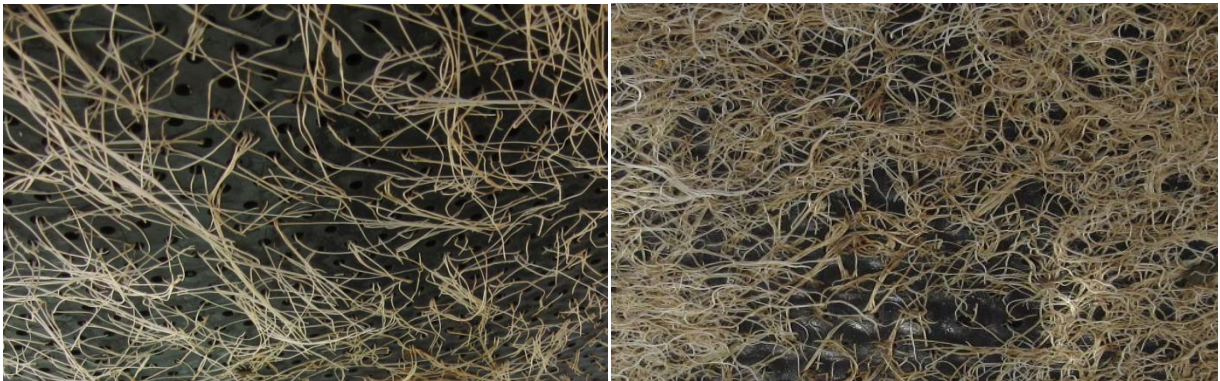
1. 研究課題名 不織布による稲の根域制限効果の検証
2. 研究相手先 株式会社 アクルス
3. 研究実施場所 公立大学法人 大阪府立大学
4. 研究期間 平成27年9月1日～平成28年3月31日
5. 研究目的 不織布による稲の根域制限効果の有効性を検証する。
6. 実験方法

稲の苗箱に不織布、再利用不織布あるいは通常のシートを敷き、試験区、再利用区および慣行区の3試験区を設定して、各々の播種後7、14および21日の根の伸長程度を観察し、草丈および葉齢を測定した。

### 7. 結果

#### ① 稲の根の伸長程度

播種後7日



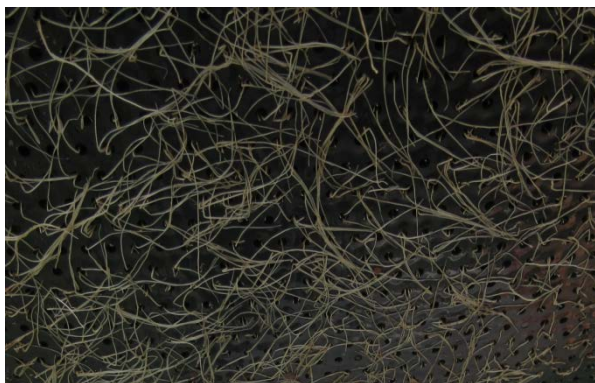
試験区

再利用区

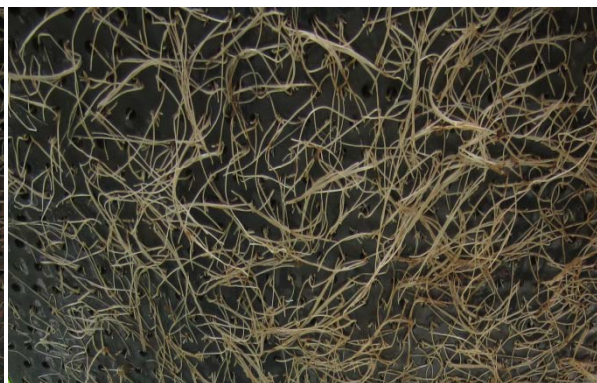


慣行区

播種後 14 日



試験区

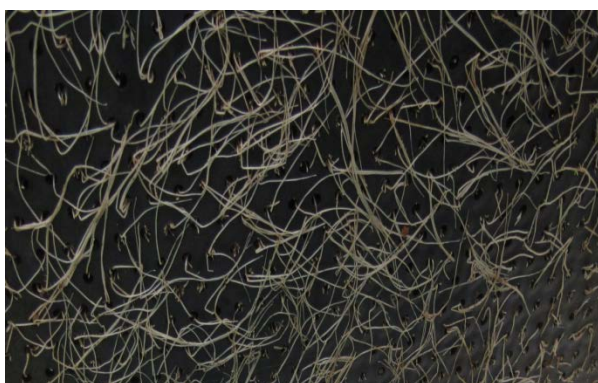


再利用区



慣行区

播種後 21 日



試験区

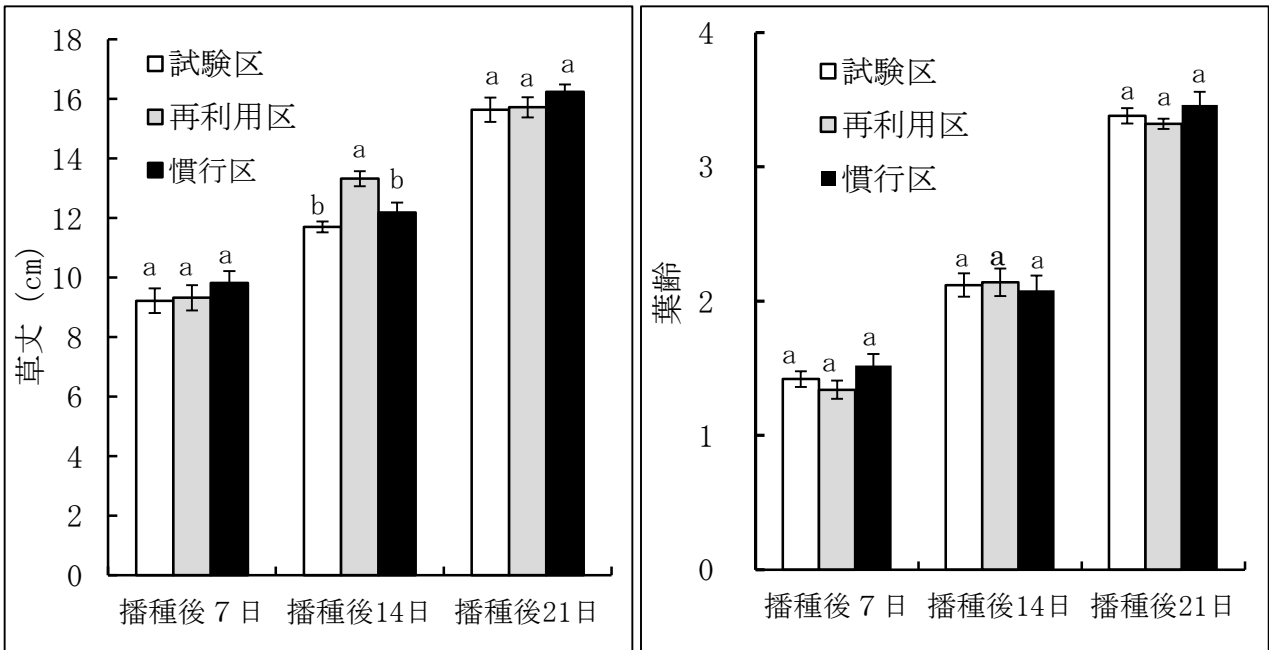


再利用区



慣行区

② 稲の草丈および葉齢



播種後 21 日



試験区



再利用区



慣行区

8. 考察

不織布、再利用不織布および通常のシート使用の試験区、再利用区および慣行区の 3 試験区を設定して、各々の播種後 7、14 および 21 日の根の伸長程度を観察し、草丈および葉齢を測定した結果、試験区および再利用区では慣行区に比べて、根の伸長が抑えられ、細根の発生も少なかった。しかし、地上部の生長については草丈、葉齢とも慣行区と差異はなかった。そのゆえに、今回開発した不織布の苗箱のシートへの利用は、根域を制限して、しかも、地上部の生長には影響を及ぼさないで、苗箱からの稲苗の脱着を容易にすることがみとめられ、再利用も可能であった。

以上